



公立大学法人富山県立大学

富山県立大学

担当：看護学部老年看護学講座

准教授 青柳 寿弥

電話：076-464-5410（内線 867）

メール：dlbsn-toyama@pu-toyama.ac.jp

News Release

令和5年5月10日

レビー小体型認知症の基礎知識と最新情報

レビー小体型認知症サポートネットワーク富山

第23回研修会&交流会

今回は、レビー小体型認知症の基礎知識と最新情報について取り上げます。アルツハイマー型認知症に次いで2番目に多いレビー小体型認知症は、認知機能の低下とともにさまざまな症状が現れる病気であり、複数の症状への対応が必要になってきます。レビー小体型認知症の特徴、治療、対応などに関する基礎知識や最新情報について、レビー小体型認知症サポートネットワーク富山の顧問医である医師の講演を通して、レビー小体型認知症への理解を深めます。

また、当日は講演後に交流会を行います。専門家への相談、当事者同士での情報共有等を通して、生活の中で生じる疑問や悩みについて解決を目指します。

1 日 時 令和5年5月27日(土)14時00分～16時00分
(16時00分以降は参加自由の交流会を開催します。)

2 場 所 富山県立大学 富山キャンパス 教育棟4階405看護学実習室

3 参加者 当事者や家族、専門職者等どなたでもご参加いただけます

4 内 容 講演

「レビー小体型認知症(DLB)の基礎知識と最新情報」

講師：富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座

教授 鈴木 道雄 先生

交流会

顧問の医師や認知症看護認定看護師、大学教員等が運営します。

5 その他 取材を希望される場合は、事前に上記担当者までご連絡ください。

「レビー小体型認知症サポートネットワーク（略称、DLBSN）」とは・・・

2008年に発足した家族会「レビー小体型認知症家族を支える会」の後継組織であり、全国19エリアで活動しています。アルツハイマー型認知症に次いで2番目に多いとされるDLBについて、本人や家族だけでなく、専門職者なども含めて、病気やケアについて学び、情報共有しながら支え合えるよう取り組んでいます。